

地域おこし協力隊の活動日記

飛騨市内で活動している地域おこし協力隊。市内に存在するさまざまな地域資源を活用し、地域の特徴を活かした産業の創出を図ります。



地域おこし協力隊の活動内容紹介
 く広葉樹・薬草を活用したまちづくり推進

隊員 中富 康子

飛騨市の皆様、こんにちは！

早いもので移住してから半年が経過しました。飛騨で迎える初めての「春夏秋冬」。ふと気が付けば黄金色に揺れ輝く稲穂の風景、秋ですね。

時は少々さかのぼりますが、この夏は行く先々で「トマトいるっ?」「ゴーヤは好き?」と自家製の採れたて野菜をおすそわけしていただき、みずみずしく凝縮した味わいと皆さんの優しさをしみ

じみかみしめながら、ありがたく堪能しました。

さて、活動としましては森の資源(広葉樹)の活用について、引き続き様々な事業や催しに携わっています。

最近の一例ですと、親子で木に触れ親しむ空間「木のおもちゃひろば」、市内に子育てセンターが3カ所ありますが、このたび神岡町(子育て支援センター内)では県産材を使った遊具などを導入することに、私もその推進メンバーとして動いています。どんなものを「作り手さんは?」からのスタート。せっかくならばできるだけ地域性を盛り込もう!という事で神岡町在住のお2人の職人さんに相談。安全面や使いやすさ、そして何より子供たちのわくわく感、これらすべてを叶えるべく職人さんの知識と技、現場目線もふまえた観点と発想、木とのふれあい時間を提案&提供されている木育を広める会さんご意見等を取り入れ打合せを重ねてきました。こちらは年内に完成予定。五感を通じて、子供たちの手になじみ、心に寄り添う場所となりますように...

活動の中では、特に木工職人さんとの接点が多く、工房におじゃまる機会も増えています。そこで聞ける木や自然に

まつわるお話、作品や想いなど...。皆さん作風はさまざまでも木への愛情と日々木目と向き合う真摯な姿は共通でいらつしやるのだなあと感じます。木工の町の輪の中で、架け橋の役割が担えるようこれからも私の工房訪問は続きます。

また先日、古川町の工房(care's)で行われた「ものづくりの会」では、地元野菜を使った料理、河合町トマトのスパイスカレーなどが振る舞われ、皆さん気さくに談話を楽しみ過ぎず交流会となりました。こちらでは常時ワークショップやカフェのみの利用もできイベントも時々...。木で何か作る体験だけでなく、色々な繋がりが生まれ、衣食住が今より少し楽しくなるヒントがありそうです。私もまな板作りに挑戦、やってみると結構楽しいものです。皆さんも機会がありましたらぜひ体験してみてくださいね。

そして秋の一大イベント「ヒダクマ秋祭り」。今年も森と町が賑わいます!という事で私もそのプログラムに向け活動中。「森と人と暮らしの輪」をつくりましますよ!

昨年より「広葉樹の活用・まちづくり」に力を入れている飛騨市。先日も森

林の専門の方の講演に参加、貴重なお話をうかがい学び多き日々です。

ところで、広葉樹の活用というとなんだか難しそうですが、イメージしやすいのはやはり木を材料として、小物や家具といった物をつくることでしょうか。他にも例えば、森を歩くとなんだか心も体もスツキリ軽やかになったり、という自然のパワー・エネルギーみたいなものを感じるのもその一つ、といえますよね。

また、私は前職がフライダル業だったこともあり、飛騨の誇りである森の広葉樹をフライダルの場で展開したい、...そんな想いもあります。

模索しながらではありますが、今後もしっかり見聞を広げ、体験体感しながら少しずつ発信・提供していくことを目標に、そして環境保全や健やかな暮らしに繋がる飛騨市の取組みに貢献できよう努めてまいりたいと思います。

